

評価ルーブリック

| 評価項目 | A (25点) | B (20点) | C (15点) | D (1つでもあてはまれば不合格) |
|--|--|--|--|--|
| 栄養学分野に関する高度な専門的知識・技能、情報収集能力や高度な倫理性を持って、研究を立案することができる (A) | 様々な文献や資料から、高度な情報収集を行い、科学的な知識に基づき、学術的・社会的に重要な栄養学分野の研究課題を見出し、これを解決するために、高度に専門的な知識・技能を持って、倫理性を持って自身で論理的かつ科学的な研究計画を立てることができる | 文献や資料を検索し、科学的な知識を得たうえで、学術的・社会的に重要な栄養学分野の研究課題を見出し、これを解決するために、倫理性を持って自身で論理的な研究計画を立てることができる | 文献や資料を検索し、科学的な知識を得たうえで、栄養学分野の課題を見出し、倫理性を持って自身で研究計画を立てることができる | 栄養学分野の課題を解決するための研究計画を自身で立てることができない |
| 目標達成にむけて、科学的根拠に基づき、卓越した研究を遂行することができる (A) | 栄養学分野の研究課題について、自身で科学的根拠に基づく、明確な目標設定ができ、自身がリーダーとなって他者と協働しながら主体的に卓越した研究を遂行することができる | 栄養学分野の研究課題について、自身で科学的根拠に基づく目標設定ができ、他者と協働しながら主体的に卓越した研究を遂行することができる | 栄養学分野の研究課題について、自身で科学的根拠に基づく目標設定ができ、卓越した研究を遂行することができる | 目標達成に向けて科学的根拠に基づく卓越した研究を遂行することができない |
| 研究成果を自身で博士学位論文にまとめることができる (A, B) | 科学的かつ論理的に、自身で論文検索を行い、得られた研究結果を自身で解析し、高度に専門的な論理的な考察を行って研究成果として自身で博士学位論文にまとめることができる | 自身で論文検索を行い、得られた研究結果を自身で解析し、論理的な考察を行って研究成果として自身で博士学位論文にまとめることができる | 得られた結果を自身で解析し、成果として自身で博士学位論文にまとめることができる | 得られた結果を研究成果として自身で博士学位論文にまとめることができない |
| 研究成果を地域・世界に向けて積極的に発表することができる (B) | 自身の研究成果を、筆頭著者として、査読のある国際学術雑誌と国際学会で複数発表し、国際学会でのシンポジストあるいは学会賞の受賞などの業績を有し、かつ博士論文公聴会で発表と質疑に答えることができる | 自身の研究成果を、筆頭著者として、査読のある国際学術雑誌と国際学会で発表し、かつ博士論文公聴会で発表と質疑に答えることができる | 自身の研究成果を、筆頭著者として、査読のある学術雑誌で発表し、かつ博士論文公聴会で発表と質疑に答えるとともに、研究成果の概要を英文で公表することができる | 自身の研究成果を、筆頭著者として、査読のある学術雑誌で発表できない、あるいは博士論文公聴会で発表と質疑に答えることができない |